

郡上八幡の「今」と「これから」



八幡市街地まちづくり会議の加藤徳光委員長

「まちのコンパス」で見えた 未来のまちづくり

八幡市街地まちづくり会議が今年3月に発行した冊子「まちのコンパス」は、八幡市街地のまちづくりを支えている商工や観光、自治会など関係する団体の参画を得て編集されました。

冊子は、市街地に住むみなさんを対象に「郡上八幡」が抱えている課題の解決や将来について実施したアンケートの結果と、八幡市街地まちづくり会議委員のみなさんからのインタビューをまとめたものとなっています。まちづくり会議の委員長を務める加藤徳光さんは、「次の時代を担う子どもたちや若者が

郡上八幡でしか味わえない 「モノ」や「コト」

いきいきと暮らすことのできる町にするためには、市街地全体の将来の方向性をみなさんが共有し実践することや、裏方で汗を流す事務局の機能強化が必要になっていきます。この『まちのコンパス』の発行を通じて、こうした人材や機能が今後のまちづくりを支える大きなポイントになることを確認できました。」と力を込めて話されました。

八幡市街地まちづくり会議の委員であり、郡上八幡観光協会の副会長を務める兼山勝治さんは「今夏は酷暑により観光サービスマスターはダメージを受けました

八幡町市街地では、ここ数年、「地域の資源」を新しい視点で生かして起業される人や事業者が増えています。事業の内容は多種多様ですが、こうした活動によって「郡上八幡」に関心を持つ人が増え、このことが新しい人の流れに結びつき、結果として地域全体が活性化し、好循環が生まれつつあります。今月号では、「郡上八幡」のまちづくりについて、「今」と「これから」をお伝えします。

が、このことを機に、みんなが知恵を出し合い、観光客が継続的に訪れたいと思うような、新たな観光コンテンツの開発を検討していきたい。」と観光による外貨の獲得を力説されました。

八幡市街地では、(一財)郡上八幡産業振興公社がゲストハウスのサービスマスターや、新たな賑わい拠点の開発などを手がけており、どこにでもある商品やサービスマスターではなく、郡上八幡でしか味わうことができない「モノ」や「コト」の提供を進めています。兼山さんは「こうした取り組みが実体経済を活性化させ、雇用を生み出す可能性もあります。」と今後に期待を込められます。

新しい人の流れを生み出す これからのまちづくり

八幡町橋本町で空き家を改修し、昨年6月から市内でものづくりを行っている個人や事業者の「こだわりの逸品」を展示販売している瀬木大輔さんは、橋本町の通りを活気づけようと、商店街の人たちと協力して統一的なデザインの木製看板を設置し、各店舗が扱っている商品が一目でわかるようにしました。観光客にも地元の人にも分かりやすい看板はとても好評を得ています。

瀬木さんは「郡上の特徴や踊りを生かした仕事を増やした



水の恵みを学ぶフィールドワーク。若い人の関心も高まっています。

い。踊りシーズン以外も観光客を呼び込むことで、地域全体の経済効果が高まります。また、市街地に魅力的な通りやお店が増えることで、新しい人の流れが生まれます。観光客や地元の人にも喜ばれるまちづくりを進



旧越前屋では、夏の期間を利用して「郡上逸品」の販売やPRを行っています

めていきたい。」と抱負を話されました。

町の景観や環境を守り 繋いでいく町の重要性

豊かな自然の中で、歴史と文化が今に受け継がれている八幡市街地は、水の恵みを生かしたまちづくりを積極的に進めてきました。また、平成25年度からは、増え続ける空き家問題を解決するため、空き家となった建物を改修し、再び「町家」として活用していく取り組みも始まっています。前述した「まちのコンパス」では、これからの郡上八幡について「空き家」の増加を心配する声が高く、市街地に住む多くの人が切実な問題と

してとらえていることが伺えます。今後は、「空き家の活用により移住者を呼び込み、市街地を活性化すること」とともに、「

旧越前屋を改修し市街地のまちづくりを後押し

水と密接につながった暮らしを守る「町の景観や環境を大切にすること」にも力を入れるべきとの声があがっています。八幡市街地で空き家の活用を進めるチームまちやの猪股誠野さんは、「移住者の多くが水や町家など、郡上八幡が本来持つ魅力に価値を見出しています。今後は地域住民と移住者が一丸となり、町の歴史や文化を継承するための仕組みが必要となってきます。」と話されました。

市では、旧越前屋（平成19年に建物の一部が国登録有形文化財に指定）の改修工事に着手します。11月に着工し、平成31年6月の完成を予定しています。風情ある町家の暮らしが感じられる施設として整備し、市街地のまちづくりを後押しする機能も盛り込む予定です。

郡上八幡のこれからのまちづくりは、「自分たちでつくるまち」と言えます。市としても、市街地の持続的なまちづくりを引き続き支援していきます。

☎ 問 市長公室政策推進課
67・1844



未来へ繋ぐ 八幡中学校3年 寺脇菜未さん

歴史や伝統文化、人との繋がりがあるのが郡上八幡の良さだと思います。町家オイデナーレに参加し、地域の方や観光客の方と関わることができ、つながりを生み出したと思います。また、昔の町並みや雰囲気よさを町全体から感じました。

私たちが郡上八幡の歴史や伝統文化を受け継ぎ、大切に未来へつないでいきたいと思っています。



郡上の良さを発信する

八幡中学校3年 小椋哉斗さん

僕たちの先輩が考えた「ゆかたDAY」も、今年で3回目となりました。今年も、郡上おどりの屋形をお借りし、地域の方の協力をいただいて、昨年度以上に盛り上がりのあるゆかたDAYを開催することができました。今後も、自分たちが踊るだけでなく、中学生から郡上のよさを発信し、郡上八幡を盛り上げていきたいです。